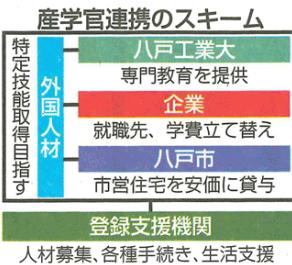


デーリー東北
2024年(令和6年)12月17日(火曜日) (1)

外国人材 トラック運転手に



北奥羽の現場から
コースを新設することが16日、分かった。運転手の残業時間規制に伴い、物流が停滞する「2024年問題」の解決につなげたい考え。ミャンマーから留学生(聴講生)を受け入れ、在留資格「特定技能1号」の取得を目指す。来年10月からの実施に向け、準備を進めている。

2024
年問題

八戸工業大(坂本禎智子長)などが産学官連携で取り組む、国内企業に就労できる外国人材を育成する「特定技能エンジニアプログラム」で、人手不足や高齢化が顕著なトラック運転手を養成する自動車運送業(トラック)の工場製造業は11人が新設する自動車運送業(トラック)コースでは、受講中だ。

特定技能は最長5年働く1号と、熟練技能を要し、家族の帯同が認められて事実上、永住も可能な2号がある。政府は今年3月、外国人材の受け入れを目的とした1号に、人手不足が深刻な自動車運送業(トラック、バス、タクシー)、鉄道、林業、木材産業の4分野を追加する方針を閣議決定した。